

堺市の犯罪情勢

大阪重点犯罪と署指定犯罪

「大阪重点犯罪」と「署指定犯罪」を重点対象とした「地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止総合対策」について、検挙及び防犯の両面にわたる総合的な警察活動を戦略的に展開するとともに、自治体、事業者、地域住民等と連携・協働したオール大阪体制で犯罪の起きにくい安全なまちづくりを推進しています。

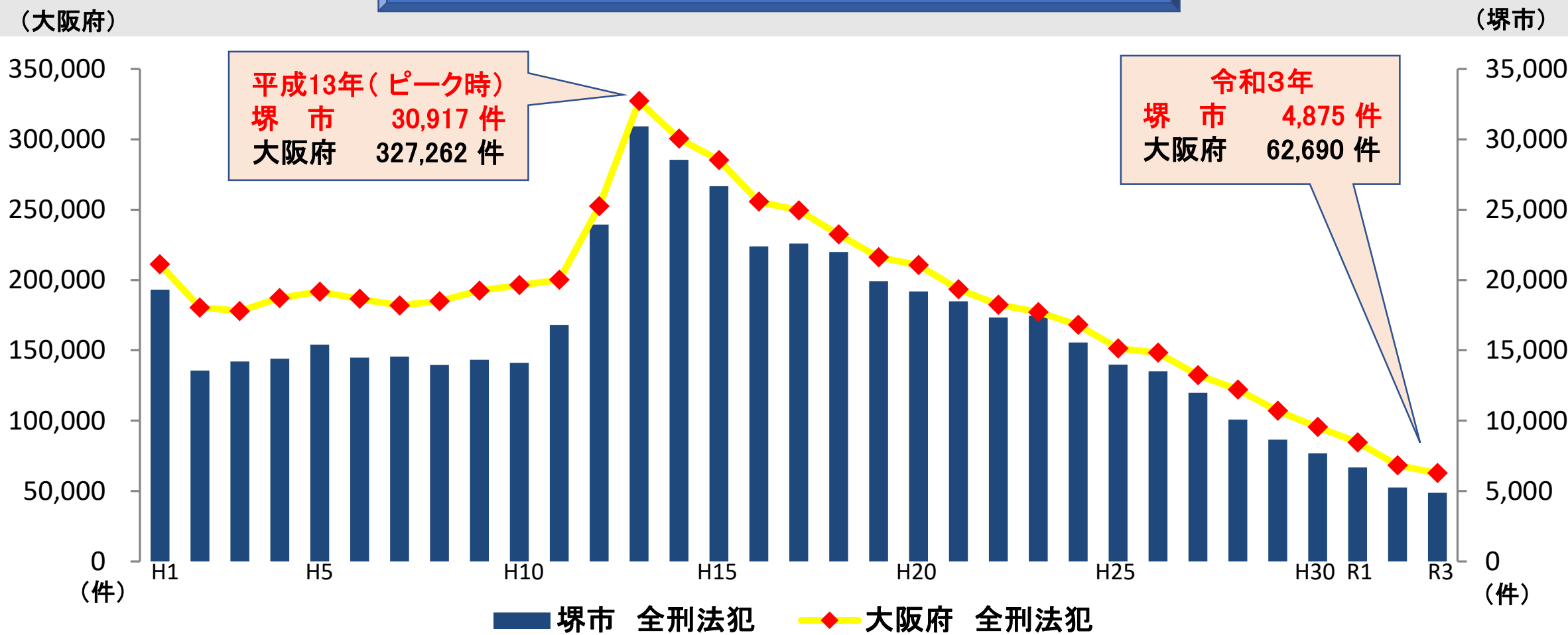
大阪重点犯罪

- 子どもや女性を狙った性犯罪
(強姦性交等・強制わいせつ・公然わいせつ・痴漢)
- 特殊詐欺
- 自動車関連犯罪
(自動車盗・車上ねらい・部品ねらい)

署指定犯罪

大阪重点犯罪以外で、警察署管内の発生状況から地域住民等の安全・安心を脅かし、課題等となっている犯罪のうちから、警察署長が指定する犯罪

刑法犯認知件数の推移（大阪府・堺市）



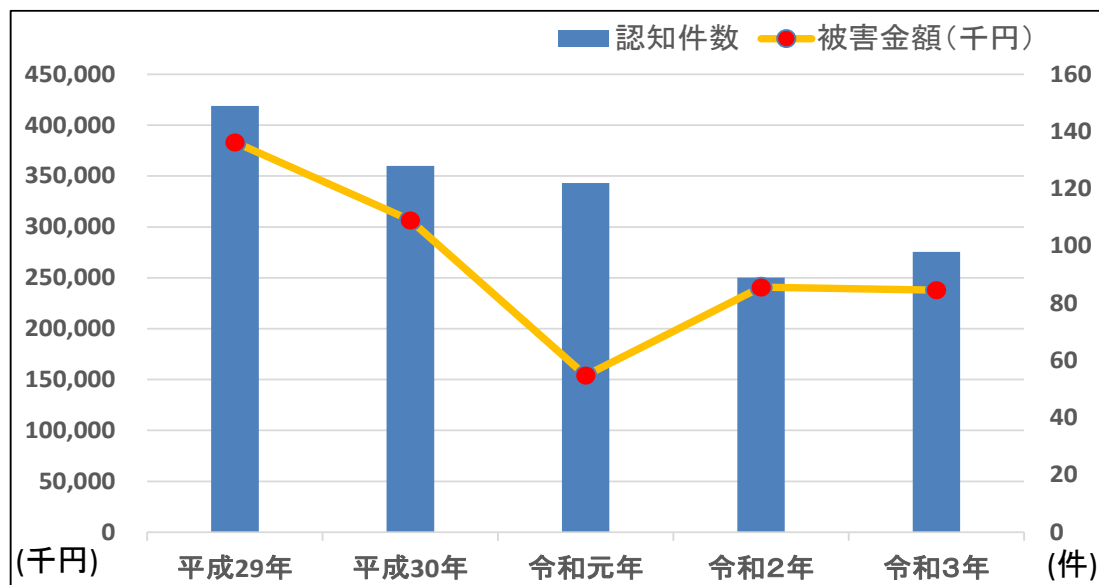
堺市における主な刑法犯認知件数

	全刑法犯	性犯罪	特殊詐欺	自動車盗	車上ねらい	部品ねらい	ひったくり	路上強盗
令和3年	4,875	78	98	49	258	228	6	0
府内全体に占める割合	7.8%	7.4%	6.4%	9.4%	7.4%	8.1%	6.0%	—
前年比	-372	15	9	-69	-70	-80	2	-5
令和4年6月末	2,366	63	44	45	139	117	6	2
府内全体に占める割合	7.7%	11.2%	4.8%	15.0%	8.4%	10.4%	10.0%	8.7%
前年比	-23	32	-1	14	20	16	4	2

※ 令和4年6月末の数値は暫定値を示す。
 ※ 「性犯罪」は、強姦性交等、強制わいせつ、公然わいせつの合計値を示す。

堺市内の特殊詐欺の情勢

堺市の被害状況推移(過去5年)



		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
認知件数 (件)	堺市	149	128	122	89	98
	大阪府	1,596	1,771	1,809	1,107	1,538
被害金額 (千円)	堺市	383,372	306,698	154,116	240,788	238,051
	大阪府	3,760,201	3,748,142	2,518,472	2,248,060	2,414,409

堺市各区の被害状況

※ 令和4年6月末の数値は暫定値を示す。

令和3年	認知件数	前年比	被害金額(千円)	前年比(千円)
堺市	98	9	238,051	-2,737
堺区	19	-5	29,942	1,435
北区	22	6	73,971	51,624
西区	12	0	60,511	48,225
中区	12	4	21,082	-13,667
南区	13	-5	21,061	-93,030
東区	15	5	26,001	-2,807
美原区	5	4	5,483	5,483

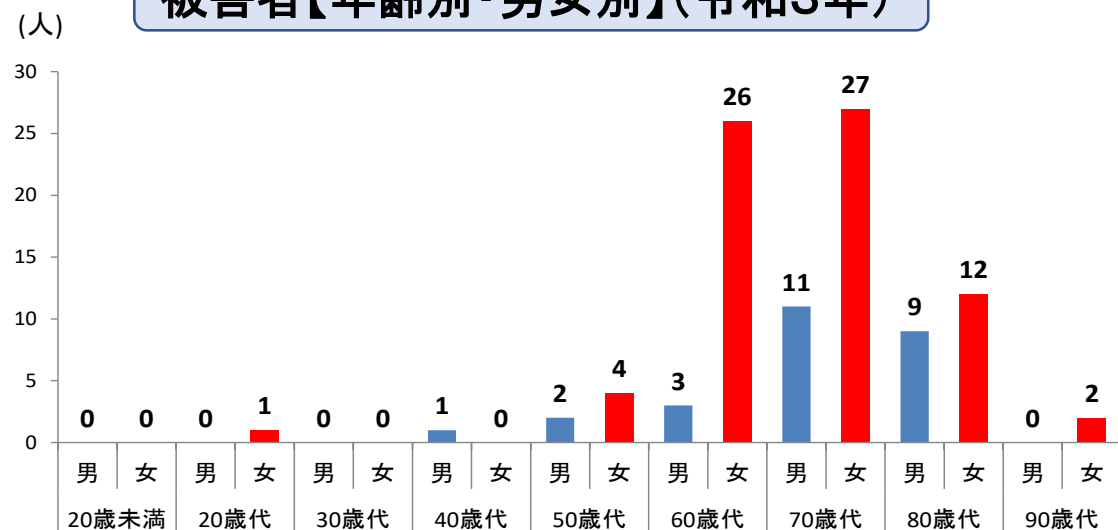
令和4年6月末	認知件数	前年比	被害金額(千円)	前年比(千円)
堺市	44	-1	45,231	-104,411
堺区	10	4	7,412	-3,133
北区	9	-5	10,333	-35,665
西区	7	3	2,962	-44,936
中区	6	3	5,889	-8,108
南区	7	0	14,585	-694
東区	3	-5	3,500	-7,303
美原区	2	-1	550	-4,572

手口別被害状況

※ 令和4年6月末の数値は暫定値を示す。

	認知件数				被害金額(単位は千円)			
	令和4年 (1-6月)	令和3年 (1-6月)	増減		令和4年 (1-6月)	令和3年 (1-6月)	増減	
			件数	増減率			増減額	増減率
特殊詐欺全体	44	45	-1	-2%	45,231	149,642	-104,411	-70%
オレオレ詐欺	2	1	1	100%	7,470	6,000	1,470	25%
預貯金詐欺	6	8	-2	-25%	5,700	16,509	-10,809	-65%
架空料金請求詐欺	13	9	4	44%	10,432	96,853	-86,421	-89%
融資保証金詐欺	1	0	1	-	2,431	0	2,431	-
還付金詐欺	9	24	-15	-63%	4,810	29,628	-24,818	-84%
キャッシュカード詐欺盗	13	3	10	333%	14,388	652	13,736	2,107%
上記以外	0	0	0	-	0	0	0	-

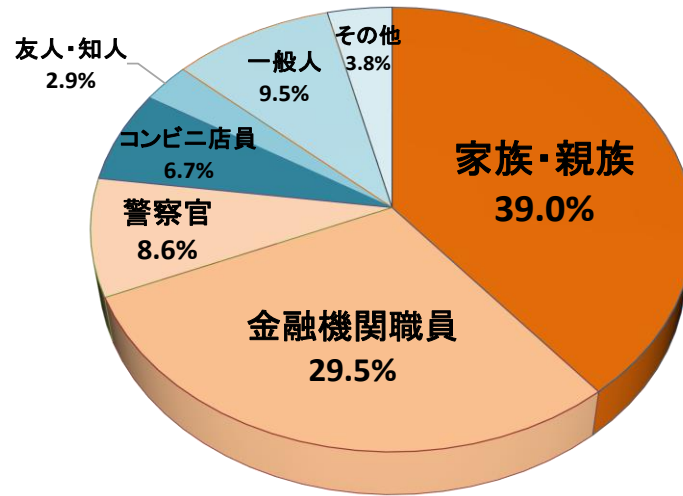
被害者【年齢別・男女別】(令和3年)



アポ電の認知件数

	令和3年	R4(1-6)月
アポ電	664	272
未然防止	105	37
被害認知	98	44

未然防止者(第三者)の内訳(令和3年)



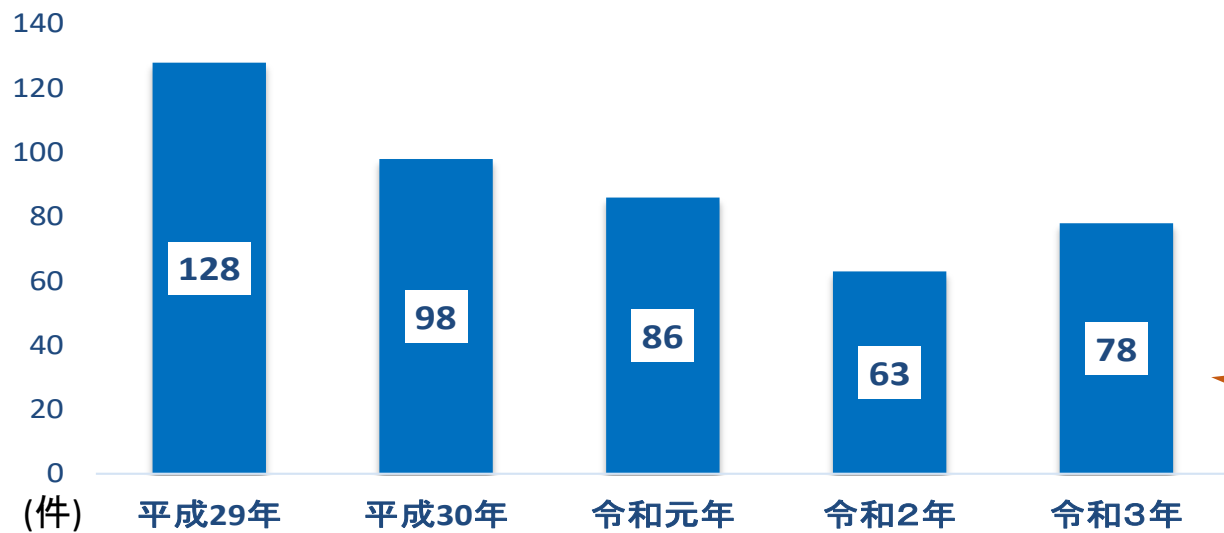
【総評】

- ・令和3年は前年と比較して、認知件数は9件(約10%)増加したが、被害金額は約274万円減少した。
- ・令和4年6月末現在では、前年同期比で特殊詐欺全体の認知件数は1件減少し、被害金額は約1億440万円減少している。
- ・被害者の年齢別男女別では、60歳代・70歳代の女性が突出して多く、男女合わせて、60歳代以上の被害が全体の約92%を占めた。
- ・第三者による未然防止のうち、家族・親族、金融機関職員による未然防止が約70%を占める。

注) アポ電及び未然防止の件数は、堺市内を管轄する各警察署の報告を基にした件数である。(大阪狭山市を含む。)

堺市における子どもや女性を狙った性犯罪

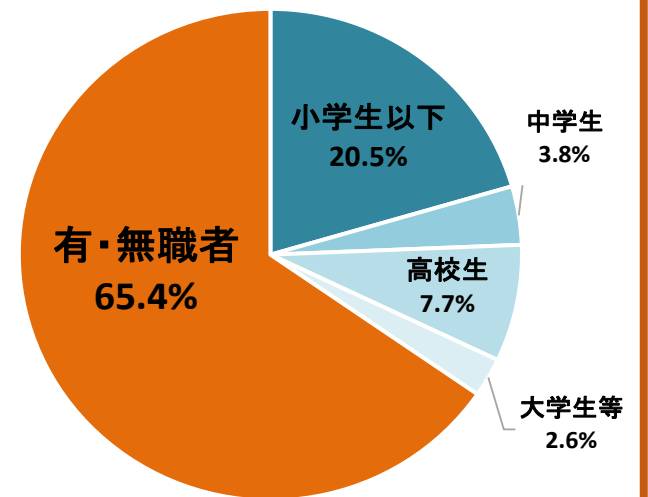
性犯罪 認知件数 推移(過去5年)



	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
性犯罪	128	98	86	63	78

※ 性犯罪は、「強制性交等、強制わいせつ、公然わいせつ」の合計を表す。

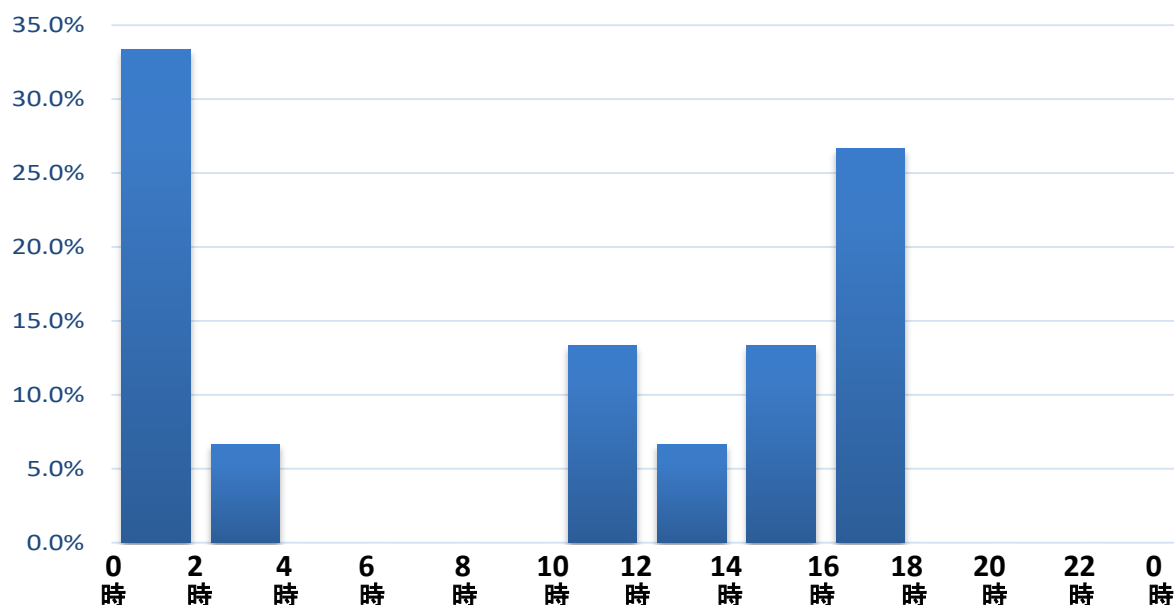
性犯罪 被害者 学職別(令和3年)



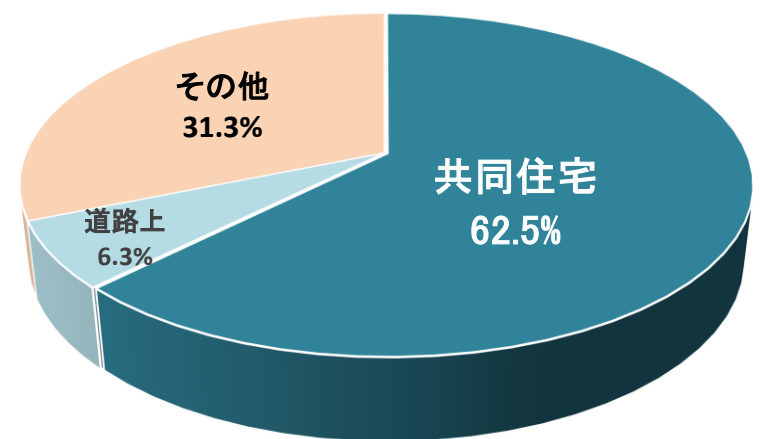
➤ 堺市における性犯罪の被害者のうち、約35%が学生及び未就学児である。

性犯罪被害【小学生以下】状況(令和3年)

【被害時間】



【被害場所】



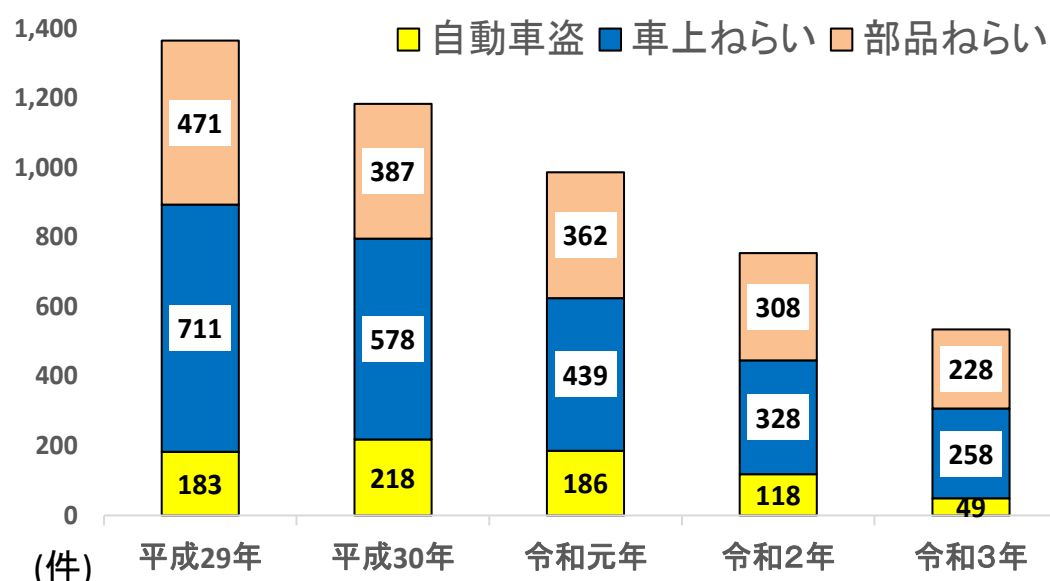
➤ 小学生以下の性犯罪被害について、発生時間帯は0時から2時、16時から18時の間が最も多く、発生場所については共同住宅が約62.5%と過半数を占めている。

【総評(令和3年)】

- 性犯罪の総数は、年々減少傾向であったところ、令和3年は令和2年と比較して、約24%増加した。
- 被害者の学職別で見ると、最も多いのが、小学生以下(20.5%)である。

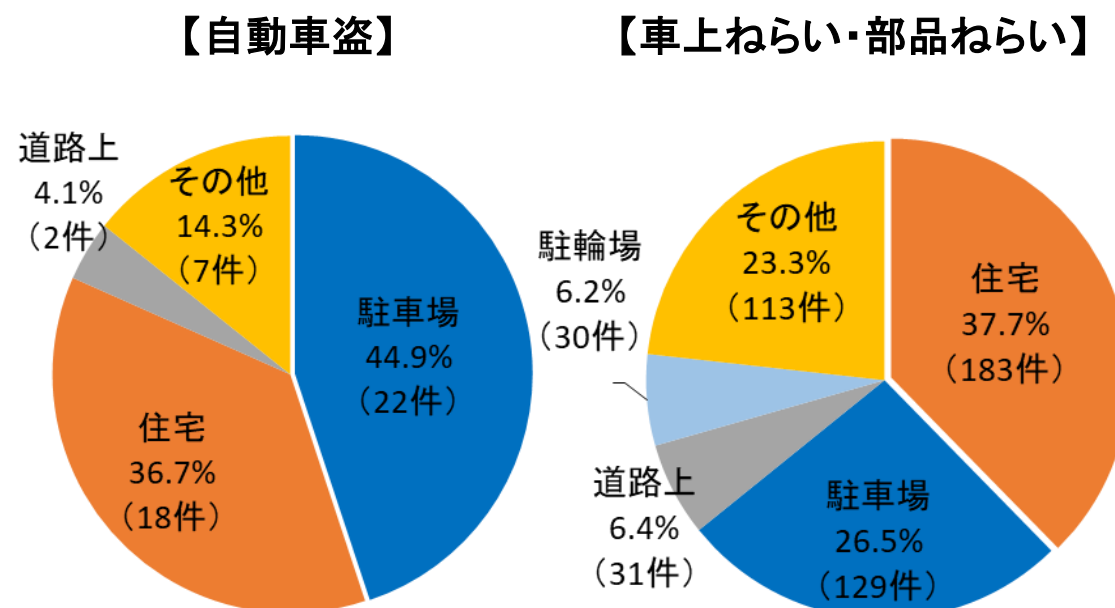
堺市における自動車関連犯罪

自動車関連犯罪認知件数 推移(過去5年)



	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
自動車盗	183	218	186	118	49
車上ねらい	711	578	439	328	258
部品ねらい	471	387	362	308	228

自動車関連犯罪被害場所(令和3年)

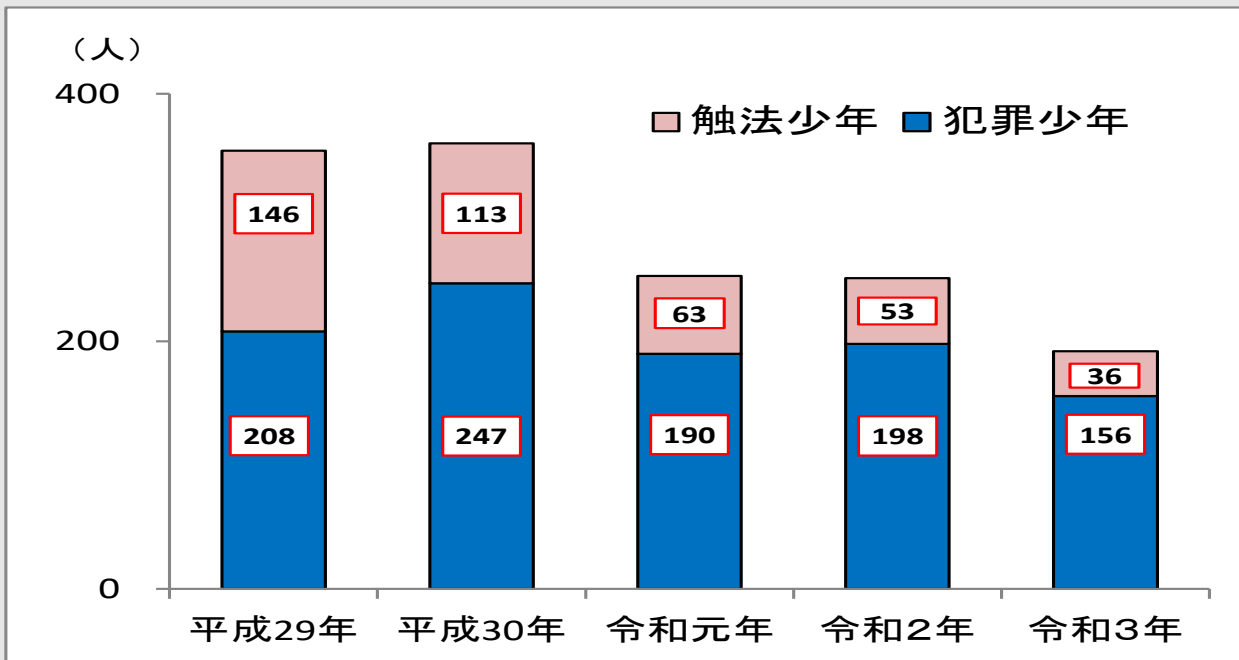


【総評(令和3年)】

- 自動車関連犯罪の総数は、令和2年と比較して219件(約29%)減少した。
- 自動車盗の被害場所については、駐車場が最も多く、次に住宅での被害が多い。
- 車上ねらい・部品ねらいの被害場所については、住宅が最も多く、次に駐車場で被害が多い。

堺市内6警察署の検挙・補導による少年非行情勢

刑法犯少年 検挙・補導人員（過去5年）



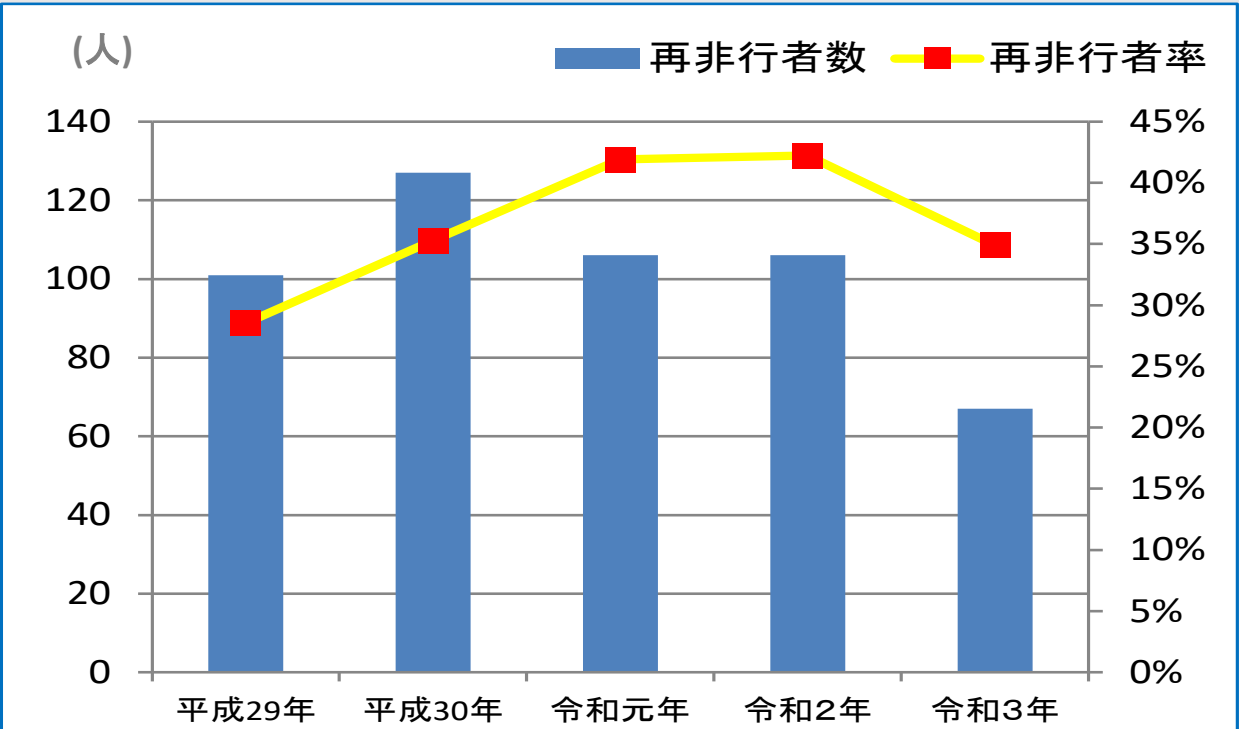
区分	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
刑法犯少年	354	360	253	251	192
犯罪少年	208	247	190	198	156
触法少年	146	113	63	53	36
少年の占める割合	22.1%	23.4%	19.5%	19.2%	15.9%

- ※ 少年……20歳未満の者をいう。
- ※ 犯罪少年…犯罪行為をした14歳以上の少年
- ※ 触法少年…刑罰法令に触れる行為をした14歳未満の少年
- ※ 少年の占める割合…刑法犯で検挙(成人を含む)又は補導した人員のうち、少年の占める割合をいう。

刑法犯少年 検挙・補導人員（R3とR2の比較）

刑法犯(罪種別)	令和3年	令和2年	前年比
少年総数	192	251	-59
凶悪犯	6	12	-6
殺人	1	0	1
強盗	4	8	-4
放火	0	1	-1
強制性交等	1	3	-2
粗暴犯	17	56	-39
暴行	3	16	-13
傷害	12	31	-19
脅迫	0	4	-4
恐喝	2	5	-3
窃盗犯	92	126	-34
自動車盗	0	0	0
オートバイ盗	27	27	0
自転車盗	14	28	-14
ひったくり	0	0	0
車上ねらい	3	1	2
部品ねらい	14	13	1
万引き	23	42	-19
その他	11	15	-4
知能犯	19	8	11
詐欺	16	5	11
その他	3	3	0
風俗犯	13	3	10
強制わいせつ	10	2	8
公然わいせつ	3	1	2
その他の刑法犯	45	46	-1
占有離脱物横領	13	23	-10
その他	32	23	9

刑法犯少年 再非行者数・再非行者率（過去5年）



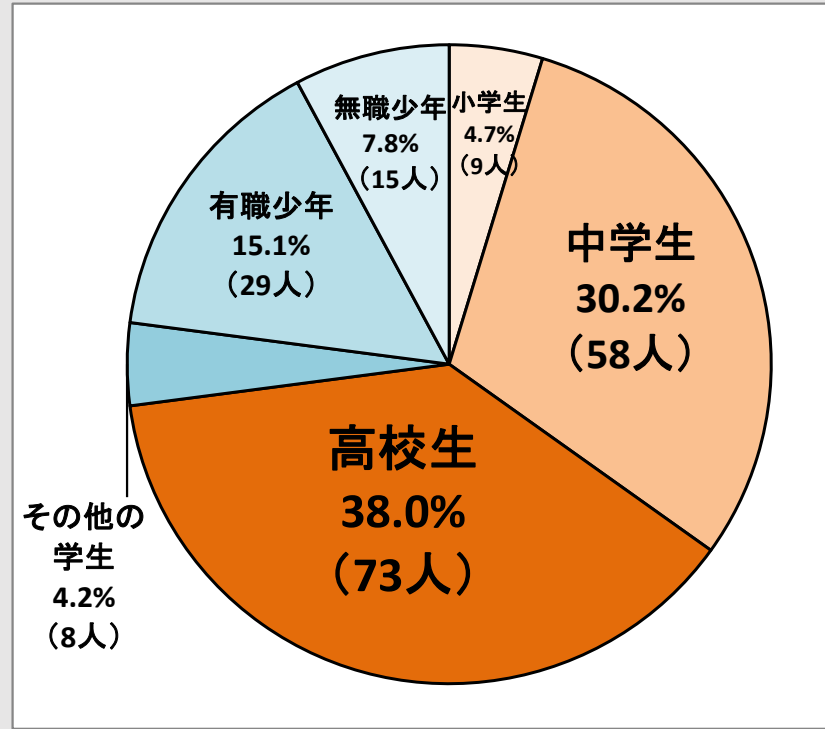
区分	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
再非行者数	101	127	106	106	67
再非行者率	28.5%	35.3%	41.9%	42.2%	34.9%

- ※ 再非行者率…犯罪少年・触法少年のうち、過去に何らかの非行を犯し、検挙・補導されたことのある少年の割合をいう。

【総評(令和3年)】

- 刑法犯少年の検挙・補導人員は192人で、前年より59人(約23.5%)減少した。
- 刑法犯では、窃盗犯が約27%減少するなど、ほとんどの罪種で減少したが、詐欺等の知能犯の検挙・補導人員は19人で、前年比約138%の増加となった。
- 学職別では、高校生が約38.0%で、全体の約3分の1を占め、中学生と合わせると約68.2%と半数以上を占めた。
- 刑法犯少年の再非行者数は67人で、前年比で39人(約36.8%)減少した。
- 特別法犯では、少年の軽犯罪法違反や銃刀法違反等の検挙・補導人員は増加したが、大麻取締法違反や覚せい剤取締法違反等の薬物事犯は減少した。

刑法犯少年(学職別) 検挙・補導人員(令和3年)



特別法犯少年 検挙・補導人員（R3とR2の比較）

特別法犯(罪種別)	令和3年	令和2年	前年比
少年総数	62	54	8
軽犯罪法	33	10	23
大麻取締法	10	18	-8
覚せい剤取締法	0	1	-1
銃刀法	6	4	2
児童買春・児童ポルノ法	0	3	-3
迷惑防止条例	8	4	4
青少年保護育成条例	1	2	-1
その他	4	12	-8

注) 各統計には、黒山警察署の大阪狭山市が含まれる。